

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス

# Comi-Navi



今年も冬コミの時期がやってきました。  
 今回のComi Naviでは夏とはまた違ったノウハウが必要になる冬のビッグサイトで元気に、快適に過ごすためのノウハウをメインにお送りします！  
 『どんな準備が必要なの？』『何に気をつければいいの？』という方は必見！

## 冬のビッグサイトってどんなところ？

ビッグサイトの環境で注意すべき点として以下の3つが挙げられる。

- 1つめは、朝方の冷え込みが、非常に厳しいこと。
  - 2つめが空気がとても乾燥して、ホコリが多いこと。
  - 3つめは会場内でも寒暖の差が激しいということ。
- では、それぞれについて対策を考えていこう。

### 1：寒さは上から下から

早朝のビッグサイト周辺が特に冷えるのは、コンクリートやアスファルト自体が冷えている上に、夜間は陸地より暖かい東京湾から湿度を含んだ風が内陸へ吹き込んでくるためだ。弱い風でも身体から熱を奪っていくので、無風状態に比べてはるかに寒く感じる。

さて、そういった環境の中では、体温をいかに外気に奪われないようにするかがポイントとなってくる。

防寒の基本は、冷氣や水分を肌の表面に到達させないことと、肌の表面に汗を残さないことだ。そのためには着衣を『雨や風を受け止める層』『断熱する層』『汗を吸う層』と3層に分けて考えるとよい。

それぞれに何を選ぶかはファッションの範疇に含まれるのでここで多くは語らないが、逆に何を着て行くにしても、上記の分類にあてはめて考えればそうそう大きな間違いはないはずだ。

ポイントとしては、最も外側にあたる第1層は極力完全に近い防水性、防風性があるとよく、防寒の中心となる第2層は、保温性と同時に汗を放出するために通気性が求められる。

肌に直接触れる第3層については汗をよく吸うことと、吸った汗を残さないことが要求され、このあたりは夏と同様だ。

その上で、更に『体温を逃がさないこと』という、第4の要素が加わってくる。もちろん（座った時に腰や背中が出てしまうような服装は論外としても）露出している肌の面積にもよるが、基本的には、首、手首、足首などは太い血管が体表近くを通っているために、これらの部位が外気に触れているとそこから体温が奪われやすい。マフラー、手袋、丈の長い靴下などで重点的にカバーするだけでも、だいぶ違ってくる。

スカートなどの場合ならストッキングの着用、膝掛け等の用意は忘れずに。

ズボンもそれ1枚ではそれほどの防寒性は持たないので、下にアンダーウェアを着用するか、上にかけるものを用意しておいたほうがよい。

また、掌、足の裏なども血管が集中していて体温が奪われやすいポイントだ。

特に足の裏は靴底と靴下ごしとはいえ、冷たい地面に直接接するので熱も逃げていきやすい。厚い靴下や靴の中に入れるタイプのカイロ、入れ替え用中敷きなどで断熱を計ったり、暖めてやろう。

ちなみに、靴中用カイロも通常のカイロ同様、暖まるまでに時間がかかり、また発熱するためには酸素が必要なので、家を出る時や移動中に開封してポケットの中に入れて十分発熱させておき、会場に到着して並びはじめる時に、靴の中に入れるとよい。

ちなみに靴そのものからも意外と熱が逃げやすいので、座っている時などは靴の上にもタオルの1枚もかけてやればより完璧だ。